

【第2次小平市子ども読書活動推進計画】平成26年度 進捗状況調査報告書

1 家庭における読書活動の推進

施策項目	所管課	平成26年度 計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
子育て支援事業との連携協力	子育て支援課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館運営事業 ・子ども家庭支援センター事業 (子育てガイドの発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花小金井南児童館「絵本のへや」11回、「かみしばい」11回、小川町二丁目児童館「絵本のへや」19回、小川町一丁目児童館「絵本のへや」21回、「かみしばい」11回を実施した。 ・子育てガイドに図書館案内を掲載し、8,000部発行。 	今後も継続実施
	図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・子育てガイドの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育てガイド」を全館で配布するとともに、地域資料としても受入れ、貸出を行っている。 	今後も継続実施
3～4か月児健康診査時の 絵本リスト配布	健康推進課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4か月児健診時、図書館コーナーの設置と赤ちゃん絵本リスト等の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間24回、3～4か月児健康診査時に図書館コーナーを設置し、受診者1,585人に赤ちゃん絵本リスト図書館案内、図書館利用者登録申込書を配布。待ち時間(約10分)を利用し、図書館職員が利用案内、絵本紹介などを行った。 	子育てに図書館を利用するきっかけづくり、また絵本を活用した子育て促進の場として充実を図っている。
	図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・3～4か月児健診時、図書館コーナーの設置と赤ちゃん絵本リスト等の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間24回、3～4か月児健康診査時に図書館コーナーを設置し、受診者に赤ちゃん絵本リスト、図書館案内、図書館利用者登録申込書を配布した。 	このコーナーでの案内により図書館利用につながるケースは多く、今後も継続していく。
家庭教育講座の充実	公民館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座の中で、本との出会い、楽しみを取り入れた講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・花小金井南公民館において、家庭教育講座「赤ちゃんと一緒に笑顔になれる」の中で「絵本 大好き 子どもと大人をつなぐ絵本の魅力」と題して実施。定員28人、応募30人、受講28人 ・津田公民館において、家庭教育講座「みんなで楽しくはじめての子育て講座」の中で「絵本 大好き 子どもと大人をつなぐ絵本の魅力」と題して実施。定員24人、応募30人、受講30人 	絵本の読み聞かせが、親と子どもの絆を深め、親が絵本に興味を持つきっかけをつくるとともに、子どもの成長に重要であることを学べる講座となった。
家庭の読書を推進する行事等の実施	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会・絵本のへや事業の実施 ・子どもの本に関する行事の開催 ・絵本リスト等の配布 ・家族一日図書館員の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の実施 4歳から1年生の部：184回(1,161人参加) 小学生の部：184回(675人参加) ・小川西町図書館では、平日の来館が困難な子どもと保護者のため、日曜日のおはなし会を開催した。 ・小川西町図書館では、地域の保育園に対し出張 	おはなし会、「絵本のへや」は引き続き実施していく。親に連れられてくるのではなく自分の意思で参加するようになる年齢の小学生の参加が減少している。これまで参加していなかった非利用者等にも、改めて幅広くPRしていく必要がある。また、働く保護者が増えるなど子どもをとりまく環境の変化に伴い、催しの内容や開催時間を工夫し変えていくことが必要で

			<p>おはなし会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館、津田図書館、大沼図書館では、夏の季節に合わせて、ちょっとこわいおはなしをテーマに「よるのおはなし会」を開催した。 ・「絵本のへや」(0歳児からの子どもと保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊びやわらべうたなども取り入れる) <p>7図書館で延べ84回開催し1,624人の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の「子ども読書の日」に合わせて4月1日から5月6日を「こだいら子ども読書月間」とし、絵本の展示等子どもと本を結ぶ行事を実施した。 ・ブックリストの配布、季節に応じた図書の展示、保護者向けの講演会や親子で参加できる行事等を開催した。 ・家族で図書館の仕事の体験ができる、恒例の「夏休み家族一日図書館員」が好評につき、昨年度より「冬の家族一日図書館員」を開始した。 	<p>あるといえる。</p> <p>「家族一日図書館員」は、好評のため昨年度から冬にも開始したが、夏休み同様に申込みが増えている。</p>	
東京都の読書推進相談事業の紹介等	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・都立図書館事業（子ども向け講演会等）の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・館内で都立図書館の行事案内パンフレットの配布やポスター掲示を行った。 	今後も継続実施

※ 継続：定着し、継続的に実施が行われている

充実：定着しつつある

実施：実施を始める

検討：実施に向け検討する（動き出す）

研究：実施に向け研究段階

2 学校における読書活動の推進

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
学校図書館活用年間計画の作成と実施	学 校	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭を中心とした各教科の学習の展開と読書活動推進に関わる計画の作成 ・教科における図書利用の促進・読書時間の確保等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての小・中学校が読書活動に関わる全体計画及び年間指導計画を作成し、教育課程の届出の際に指導課に提出した。 ・各教科等の授業において、学校図書館の利用の促進と読書活動の時間の確保を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画と年間指導計画の内容について適切な実施を継続して行う。 ・各教科等の授業において、年間指導計画に沿った学校図書館の活用と読書活動の時間の確保について、継続して行う。
学校図書館活用事例の開発と実施	指導課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・年間読書指導計画・学校図書館活用計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書教諭等連絡協議会において、各学校における年間指導計画について協議し、計画に沿った学校図書館の活用を推進した。 ・各学校の特色ある取組について集約し、活用事例集として各学校に配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った学校図書館の活用を推進し、今後も継続して行う。 ・活用事例集について、児童・生徒の学校図書館の活用の状況を踏まえて、次回の作成の時期を見極める。
	学 校		<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題解決する資質や能力を育てる事例開発の取組の実施 		
学習情報センター機能の充実	指導課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・年間読書指導計画・読書推進計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書教諭等連絡協議会において、学校図書館の機能の理解・啓発を継続して行った。 	学習情報センター機能の充実を図るため、今後も継続して行う。
	学 校		<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習・教科学習での図書館利用の推進 ・蔵書構成の見直しと蔵書の充実 		
学校図書館システムの整備と活用	学務課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館システムの整備 ・情報資源にアクセスできる環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出・返却・蔵書点検などを行えるシステムを整備している。 	継続して整備していく。
	学 校		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館システムを活用した図書の貸出・検索、統計情報等の活用 ・「学校図書館システムマニュアル」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館システムを活用して図書の貸出等を行っている。 ・「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務を行った。 	引き続き「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務や学校図書館の貸出等を行っていく。
	図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館システム活用の支援 ・「学校図書館システムマニュアル」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の学校図書館協力員に対し、必要に応じた内容の学校図書館システム研修を行った他、蔵書点検の支援を行った。 	今後とも学校図書館協力員からの意見を集約し、システムマニュアルの整備と内容の検討を進め、学校図書館での活用を図っていく。
学校間での図書の相互利用の研究	指導課	検討	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の図書の相互利用の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・相互利用可能な状況について情報の交換を行った。 ・読書活動の年間指導計画について情報交換し、可能性を検討した。 	相互利用の可能性については、継続して検討していく。
	学 校		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の図書の相互利用の研究 		
市立図書館資料の活用	学 校	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が所蔵する調べ学習、教科の学習図書の活用 ・地域資料の活用 ・学級文庫の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が所蔵する資料等を借用し、調べ学習等の授業において活用した。 	今後も活用していく。
	図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・特別団体貸出（調べ学習用）の実施 調べ学習用図書の充実 ・学級文庫への団体貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別団体貸出（小学校 19 校へ 13,033 冊、中学校 5 校へ 1,126 冊）、学級文庫への団体貸出（小学校 17 校へ 12,570 冊）を実施した。 	今後とも調べ学習用図書の充実を図っていくとともに、授業に役立つよう学校からの依頼に応じていく。

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
学校図書館図書標準の達成	学務課	充実	・実施計画に基づいた図書購入費の予算化	・蔵書率に応じて市内小・中学校への予算の配分を実施した。	国基準の達成に向けて学校ごとに図書の購入を行い、達成率については小学校・中学校とともにほぼ100%までの段階にきている。
	学 校		・「読書センター」の役割を果たす基本図書の更新 ・学習課題に応じた蔵書計画の作成 ・調べ方を身に付けるための基礎的な図書の整備	・それぞれの学校の方針に従って図書購入が行われた。(小学校7,124冊、中学校4,276冊) 国基準蔵書数をもとに蔵書を整理し、小学校・中学校とともにほぼ昨年度どおりの達成率であった(小学校は106%、中学校は99%)	調べ方を身に付けるための基礎的な図書の整備をさらに進めていく。
購入方針・廃棄基準の整備	学務課	継続	・購入方針・廃棄基準の整備	・国基準の達成に向けて、各学校の蔵書率に応じて予算を令達した。	今後も継続して行い、学校図書の充実に努める。
	学 校		・学校における購入方針・廃棄基準の整備	・国基準の達成に向けて学校ごとに計画的に図書を購入するとともに、廃棄基準については全国学校図書協議会で作成している『廃棄基準』をもとに各学校に基準の整備を働きかけた。	今後も継続して行い、学校図書の充実に努める。
地域資料の活用	指導課	継続	・「わたしたちの小平市」のこげらネットでの公開	・こげらネットでの活用を可能にした。	今後は各学校に活用について周知していく。
	学 校		・地域資料の活用	・調べ学習等で必要な図書館の地域資料を、児童・生徒が個別に活用した。	
	図書館		・地域資料のデジタル化とHPへの公開 ・地域資料コーナーの利用案内 ・調べ学習用地域資料の紹介と貸出	・郷土写真、古文書のデジタル化を進め、小平に関する新聞記事の索引、図書アラカルト、小平に関するレファレンス事例を図書館ホームページで公開している。 ・図書館見学で地域資料室の利用方法や資料の紹介を行った。玉川上水や小平の歴史などの調べ学習で来館した児童・生徒や保護者へ地域資料や貸出を行った。	地域資料の充実と啓発活動に努め、引き続き調べ学習などの児童・生徒への支援を図っていく。
学級における取組の実施	指導課	継続	学級における読書活動の取組の推進	・学校図書館司書教諭等連絡協議会において、読書活動の推進について研修を実施した。 ・各学校の取組の状況について、情報交換し、学級における取組の充実に努めた。	学校図書館活用事例集の活用を周知する。
	学 校		・学級文庫の設置 ・「朝読書」等の読書活動の実施 ・教諭や保護者による読み聞かせ等の実施 ・夏休みおすすめ本リストの活用 ・調べ学習用図書の集配システムの活用促進		
児童・生徒の読書状況に応じた取組の研究	指導課	継続	・児童・生徒一人一人の読書状況に応じた取組の推進	・学校図書館司書教諭等連絡協議会において、読書マラソンの活性化について情報交換を実施した。	学級文庫の活用や「立ち読みコーナー」の設置など、児童生徒の関心を高める指導の工夫を継続する。
	学 校		・児童・生徒への読書への動機付けなどの指導についての研究		

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
司書教諭の配置	指導課	継続	・市内の全小・中学校への司書教諭の配置	・小・中学校ともに、司書教諭の資格を有する教員を全校に配置した。	司書教諭の資質・能力の向上に努める。
	学 校		・司書教諭の指導による学校図書館の整備と運営		
中学校 学校図書館協力員の配置	学 校	継続	・学校図書館協力員の活用	・引き続き、学校図書館協力員を配置した。 ・図書館で5回の研修を実施した。	学校図書館協力員の配置で図書室が整備されたことにより、人のいる開かれた図書室となっている。それぞれの学校によって様々な課題が挙がる中、研修では、協力員同士の意見交換や図書館からの情報提供等、個別に対応するような内容の研修を行った。また、学校図書館相談員による巡回相談業務により、各学校の状況に応じた支援を行うことができた。
	図書館		・学校図書館協力員の配置、研修の実施		
小学校 学校図書館協力員の配置	学 校	継続	・学校図書館協力員の活用	・引き続き、学校図書館協力員を配置した。 ・図書館で5回の研修を実施した。	学校図書館協力員の配置で図書室が整備されたことにより、人のいる開かれた図書室となっている。授業で活用できるブックトークや図書室運営に直接役に立つ内容の研修を行った。また、学校図書館相談員による巡回相談業務により、各学校の状況に応じた支援を行うことができた。
	図書館		・学校図書館協力員の配置、研修の実施		
学校図書ボランティアの受入れと研修の実施	学 校	継続	・学校図書館ボランティア活動の充実	・学校図書館ボランティア活動の充実 ・16校で21講座実施した。	前年度実績（13校21講座）と比較し、講座回数は変わらないものの、実施校数が増。今後も継続することで、子どもの読書活動につなげていく。
	地域学習支援課		・学校図書館ボランティアに関する研修の実施		
	図書館		・学校図書館ボランティア対象の研修会等への支援 ・読み聞かせ実践講座の実施 ・デリバリー小平「子どもと読書」の実施	・学校図書ボランティアに対して読み聞かせ、修理、図書室整備など10回の講座を実施した。 ・学校等での読み聞かせボランティア等を対象に、図書館職員を講師とした「絵本の読み聞かせ実践講座」（全3回）を実施し、延べ60人の参加があった。	学校図書館協力員の補助的な業務に協力してくれている学校図書ボランティアの活動に対して、今後も支援していきたい。 広報を充実させ、講座への参加者を増やしていきたい。
読書指南役の研究	指導課	研究	・第二次東京都子供読書活動推進計画における読書指南役の研究	・読書指南役について、共通の認識をもち、児童生徒の読書活動の充実を図った。	児童生徒の読書指南役としての資質・能力の向上に努める。
	学 校		・児童・生徒の読書指導の中心となる読書指南役の役割の研究		
学校図書館司書教諭等研究協議会の実施	指導課	継続	・学校図書館司書教諭等連絡協議会の実施 ・情報交換と指導力向上の推進	・連絡協議会を年間3回実施した。 ・事例発表を行い、学校図書館活用事例集の作成に繋げることができた。	学校図書館活用事例集の活用を努める。
	学 校		・学校図書館司書教諭等連絡協議会への参加		

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
教科等研究会図書館部会の充実	指導課	充実	・教科等研究会の実施	・継続している。	本に親しむ児童の育成について研究を行い、より多くの児童・生徒に本を楽しませることができた。
	学 校		・教科等研究会図書館部会への参加 ・教科学習に寄与する図書館活動の具体化		
特別な支援を必要とする子どもへの読書推進のプログラムの開発	指導課	継続	・特別な支援を必要とする児童・生徒の読書活動の推進	・特別な支援が必要な児童生徒の読書活動について、夏季特別研修会において研修を実施した。	発達の段階や障がいの状況に応じた指導を継続する。
	学 校		・特別な支援を必要とする児童・生徒の読書活動推進の取組の実施 ・特別支援学級に在籍する児童・生徒への障がいに応じた読書推進プログラムの開発と実施		
読書週間等の啓発行事の実施	学 校	継続	・各学校における読書旬間等を活用した児童・生徒の読書活動の推進 ・子どもの読書に関する啓発行事の実施	・各学校それぞれの特性を生かした内容の工夫をし、実施している。	今後も継続実施
図書館だより等の広報の発行	学 校	継続	・「学級だより」や「図書館だより」の発行による児童・生徒の読書推進	・全校で、継続して発行している。	今後も継続実施
学校図書ボランティアだよりの発行	指導課	継続	・学校図書館ボランティアだよりの発行等による情報交換や相互啓発の推進	・地域学習支援課において、学校図書館ボランティアの交流会を年2回実施した。	学校図書館ボランティアの交流会を継続し、情報交換及び各ボランティアの意識の向上を目指す。
	学 校		・学校図書館ボランティアによる広報や図書リスト作成の実施		
児童・生徒の図書館活動の充実	学 校	継続	・図書委員会活動等の児童・生徒の主体的な図書館活動の実施	・継続して取り組んでいる。	今後も継続実施

※継続：定着し、継続的に実施が行われている

充実：定着しつつある

実施：実施を始める

検討：実施に向け検討する（動き出す）

研究：実施に向け研究段階

3 図書館における読書活動の推進

施策項目	所管課	平成26年度 計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
魅力ある蔵書の充実	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・児童図書の購入 ・基本図書の買い替え ・ブックリサイクルの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童担当者が選書を行い新規図書の購入を行った。 ・古くなった本については買い替えを行うと共にブックリサイクルを実施し提供した。 ・リサイクル対象の児童書について、保育園等に優先的に提供する等の有効的な活用方法を検討した。 	基本図書の買い替えを行い、読み継がれていくべき本を充実させることができた。
調べ学習用資料の充実	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習用の参考資料の充実 	調べ学習用図書として百科事典や図鑑の新規購入を行った。	調べ学習のための貸出しに役立つ本を揃えることができた。
資料紹介と情報提供	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターでの読書相談の受付 ・展示コーナーを活用した図書の紹介 ・市報・図書館ホームページの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターなどで読み聞かせに向く本や読書の相談を受け付けたり、図書の紹介等を行った。また各図書館の展示コーナーではテーマを決めて本の展示、紹介を行った。 ・ホームページでは、市報に掲載した図書アラカルトや夏休みおすすめ本の紹介を行った。夏休みおすすめ本に関しては、夏休み中、別置コーナーを設けた。(別置冊数：小学生向け 1,886 冊、中学生向け 415 冊) 	展示やおすすめの本の別置コーナーを作ることで、子どもたちや保護者に対し、よい本の PR 効果が高まり、貸出し数を増やすことができた。
図書館施設の整備・充実	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット検索性用パソコンの整備 ・商用データベースの整備 ・図書館施設・設備の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館を始め、市内全館（休館中の仲町図書館を除く）で利用者用インターネット端末を設置し、5,278 件の利用があった。 ・中央図書館では、朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」をはじめ 3 種類の商用データベースによって情報提供に努めた。 	インターネットの活用によって、利用者へ図書資料だけでなく、最新の情報を迅速に提供できる環境を整えることができおり、今後も、利用促進を行っていく。
乳幼児サービスの充実	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本のへやの実施 ・乳幼児向け絵本リストの配布 ・3・4 か月児健診時の絵本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「絵本のへや」を市内 7 図書館で延べ 84 回実施し 1,624 人の参加があった。手遊びやわらべうたなども取り入れ 0 歳児からの子どもと保護者を対象に実施した。 ・カウンターや 3・4 か月健診時に乳幼児向け絵本リストの配布を行った。 ・年間 24 回、3～4 か月児健診時に図書館コーナーを設置し、受診者に「絵本のへや」の案内、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行った。 	3・4 か月児健診時の案内による図書館利用は多い。今後とも広報に努め親子で本に親しんでもらえるよう努めたい。

施策項目	所管課	平成26年度 計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
各種図書リストの作成と配布	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> 絵本リスト等の配布 夏休みおすすめ本リストの作成と配布 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年、中学年、高学年用に各 16 冊、中学生用に 25 冊を夏休みの読書のためのおすすめ本として紹介し、リストを市内小・中学校を通して児童・生徒全員に配布している。図書館では夏休み中、おすすめ本を利用しやすいように別置コーナーを設けた。(別置冊数：小学生向け 1,886 冊、中学生向け 415 冊) 健康センターで健診時に乳幼児に配布している「よんでよんでの絵本」「年齢別絵本リスト」を図書館のカウンターでも配布した。 	おすすめ本については、ゆっくり本に親しめる夏休みに、楽しく読める良質な本を選び、紹介している。選書、紹介文を年齢を意識して工夫し、子どもたちにアピールするようにしている。
おはなし会・絵本のへやの開催	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会・絵本のへやの実施 よるのおはなし会・おはなし会父の日スペシャル等の実施 としょかんこどもおたのしみ会の実施 大人のためのおはなし会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内 7 館で 4 歳から 1 年生、小学生と 2 回に分け、おはなし(ストーリーテリング)と絵本の読み聞かせを継続的に実施している。4 歳から 1 年生の会を 184 回実施し、1,161 人の参加があった。小学生の会を 184 回実施し、675 人の参加があった。 「絵本のへや」を市内 7 図書館で延べ 84 回実施し、1,624 人の参加があった。手遊びやわらべうたなども取り入れ、0 歳児からの子どもと保護者を対象に実施した。 「よるのおはなし会」を中央・津田・大沼図書館にて実施し、普段おはなし会に来られない高学年の児童も含め、全館で 199 人の参加があった。喜平図書館においては「おはなし会父の日スペシャル」を実施した。 12 月には、おはなし会の拡大版として、大型絵本の読み聞かせや紙芝居等を行う「おたのしみ会」を各館で実施し、519 人の参加があった。 7 月(喜平)と 11 月(津田)に「大人のためのおはなし会」を実施し、延べ 36 人の参加があった。 	「よるのおはなし会」(午後 6 時より開催)を実施するなど、普段の時間帯におはなし会へ来られない児童にもおはなし会の機会を提供することができた。今後も休みの日におはなし会を実施するなどして、参加者を増やしたい。
ティーンズサービスの充実	図書館	充実	<ul style="list-style-type: none"> ティーンズコーナーの整備 年代の特徴を捉えた多様な蔵書の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館ティーンズコーナーの平成 26 年度の貸出冊数は 6,155 冊であった。一般書、児童書の中から選本し、貸出に供した。 	ティーンズコーナーの存在を少しでも多くの子どもに知ってもらえるよう学校との連携の中で努めていく。今後は、コーナーの存在を PR できるよう、展示コーナーを設けるなどの工夫をしていきたい。
児童・ティーンズ向け行事の開催	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> 子ども科学講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 新仲町公民館・仲町図書館の開館記念行事の中で「子ども科学講演会」を開催し、延べ 65 人が参加した。 	子どもたちが家族とともにオリジナル作品の工作をし、好評であった。今後も、子どもたちの参加型の行事を取り入れていきたい。

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
図書館ボランティア入門講座の開催	図書館	継続	・図書館ボランティア入門講座の実施	・今年度は、「図書館バックヤード体験講座」という事業名で、小学5年生から大学生までを対象に3日間図書館の裏側の仕事を体験しながら紹介する内容でリニューアルし、延べ45人の参加があった。	図書館の仕事体験を通じた幅広い年代の子どもたちの縦のつながり、仲間づくりの場になった。
児童図書・読書等に関する講演会の開催	図書館	継続	・児童文学講演会の実施 ・紀行講座・民話講座等の実施	・講演会5回 延べ276人、児童文学紀行講座1回(全2回) 延べ94人、スライド講座2回 延べ107人の参加があった。	絵本や読書に関するテーマ、講師による講演会・講座はいずれも好評であった。特に、市内にゆかりのある作家の講演会は市民の反響が大きく、満足度の高い事業となった。
布の絵本等の展示や利用の促進と福祉講演会の開催	図書館	継続	・布の絵本や大活字本の整備、充実、貸出 ・布のゆうぐ「ひまわり」との連携、協力 ・図書館福祉講演会の実施 ・「ハンディキャップサービスごあんない」の作成	・布の絵本等の展示を中央図書館、小川西町図書館で実施した。 布の絵本の制作団体である布のゆうぐ「ひまわり」による布の絵本や遊具の紹介イベントを中央図書館で開催した。 ・布の絵本177点、点訳絵本151冊、点字図書809タイトル、大活字本6,139冊、録音図書(カセットテープ、デージー)は407タイトル所蔵。 ・障がい者サービスの中心館である小川西町図書館では、館内の展示ケースを利用して、大活字本、LLブック、点字図書、点訳絵本、デージー図書等の展示を行ったほか、幼児コーナー横に、毎月種類を替えて布の絵本等を配置し、自由に楽しんでもらった。クリスマス、節分などの季節の行事を題材にした「布の遊具」も展示した。また、布の絵本を活用した「絵本のへや」を10回開催した。 ・布の絵本・遊具は、障害のある子どもが所属する市内のグループに貸出しを行った。(49件/181点)	布のゆうぐ「ひまわり」の協力を得た布の絵本等の紹介イベントには、たくさんの親子連れが訪れ盛況だった。今後も継続していきたい。 布の絵本を常置することで、多くの子どもに実際に体験してもらうことができた。
外国語絵本等の充実と情報提供	図書館	継続	・外国語絵本の貸出	・継続して外国語絵本の貸出しを行っている。	今後も継続実施
学校への資料提供と教諭への支援	図書館	継続	・学校図書館との連携推進事業の実施 ・新刊紹介や選書に関する情報提供、ブックトークや研修の実施 ・学校図書館活用への支援 ・地域の小・中学校へのサービスの実施 ・教科や調べ学習用の図書の相談受付・貸出 ・市内の私立学校、高等学校等との連携	・小・中学校9校からの依頼により、ブックトークを全校集会や授業時間などで行った。 ・高校生の読書環境を把握するため、市内都立高等学校の図書室を訪問した。	市内小・中学校からのブックトーク依頼が定着している。毎年必ず依頼のある学校もある。 高校生に対しても、今後、高校生の必要な情報を収集して図書館利用につなげるため、学校と連携していきたい。

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
学校への図書集配システムの実施	図書館	継続	・学級文庫、調べ学習用図書の図書館から学校への集配の実施	・学級文庫として小学校 17 校へ 12,570 冊の図書の貸出をした。 ・図書館を活用した調べ学習や教科の学習を支援するための配送便（配送・回収）は、小学校 19 校へ延べ 300 回、中学校 5 校へ延べ 13 回、利用冊数は貸出・返却あわせて 24,288 冊であった。	引き続き P R に努め利用してもらえるように努めたい。
学校図書館相談員による学校図書館支援	図書館	継続	・学校図書館相談員による巡回相談等の学校図書館支援の実施	・相談員による巡回は延べ 79 回で、相談内容は学校図書館システムに関すること、図書の排架・整理、図書館活動等の従来の活動と併せて、新たに教科関連図書リストの作成、相談員だよりの発行などを行った。	巡回相談から一歩進めて、図書館との連絡調整や授業支援のためのリスト作成などに取り組んだ。
学校図書館協力員への支援	図書館	継続	・学校図書館協力員への支援の実施 ・研修の実施	・小・中学校各 5 回の研修を実施した。	研修内容は、学校図書館システムの操作、図書修理・装備、読み聞かせやブックトークの習得など図書館活動に活かせるものとした。
児童・生徒の図書館見学・職場体験の受入れ	図書館	継続	・児童・生徒の図書館見学の受入れ ・職場体験の受入れ ・図書館ボランティア体験講座の実施	・図書館見学は、主に小学校 3 年生を対象に実施。図書館の利用方法の説明、おはなし会、図書の貸出、館内見学の内容で実施した。平成 26 年度は、小学校 13 校の 1,182 人と幼稚園 1 園の 87 人、保育園 1 園の 37 人が見学した。 ・職場体験は小学校 22 校の 55 人、高校 2 校の 5 人を受け入れた。 ・図書館バックヤード体験講座（旧 図書館ボランティア体験講座）には延べ 45 人が参加した。	図書館見学や図書館の仕事体験型の行事は、図書館の仕組みを知ってもらえること、おはなし会の P R、図書館を子ども自身で利用できるようになることにもつながることから、より多くの児童・生徒に来てもらえるよう広報を行いたい。
	学 校		・図書館見学の実施 ・職場体験の実施		
インターンシップ・実習生等の受入れ	図書館	継続	・インターンシップ・図書館実習生の受入れ	・図書館では毎年、インターンシップや図書館実習生を受け入れ、児童サービスへの理解ができる機会を作っている。平成 26 年度は 1 大学 2 人の学生を受け入れた。	今後も職業教育の一環として、さらに図書館サービスへの理解を深める機会を提供するため受け入れていく。
都立特別支援学校との連携	図書館	検討	・都立小平特別支援学校との連携の推進	・学校にむけた個別の図書館サービスの内容を検討した。	引き続き検討していく。
都立図書館・国際子ども図書館等との連携	図書館	継続	・公立図書館との連携 ・都立図書館との連携 ・国際子ども図書館との連携	・都立図書館や国際子ども図書館の講演会等の行事のポスター掲示やパンフレットの配布を行い、参加を呼び掛けた。 ・子ども読書の日や日本図書館協会の啓発ポスターを館内に掲示し、子どもの読書に関わる取組の P R を行った。 ・都立図書館における児童サービス研修に参加した。	児童コーナーや図書館掲示版などにポスターを掲示したり、分かりやすい形でパンフレットを置くなど今後も広報に努めたい。 また、都立図書館における研修等には今後も貴重な学習の機会として積極的に参加していきたい。

施策項目	所管課	平成26年度 計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
児童担当職員の養成と研修 機会の充実	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし学習会、レファレンス研修などの館内研修の実施 ・都立図書館等の研修、担当者会への参加 ・司書講習等の外部研修への派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし学習会、ブックトーク等の館内研修を行い、児童サービスのレベルアップを図った。 ・都立図書館で実施される児童図書館専門研修、レファレンス研修、東京都多摩地域公立図書館大会等の各種研修会に職員を派遣し、専門性の向上を図った。 ・司書資格取得講習会には3名の職員を派遣し、資質の向上を図った。 	各種研修の機会を捉え、図書館サービスの技術の取得に努め、今後も図書館サービスの向上を図る。
仲町図書館の改築	図書館	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・仲町図書館の改築工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年10月に竣工、11月に市へ引き渡しとなり、平成27年3月14日に利用を開始した。 	児童コーナー、ティーンズコーナーの利用向上に努めていく。
仲町図書館を活用した学校 図書館支援	図書館	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習用図書の実用など学校図書館支援内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携担当職員、学校図書館相談員の配置、学校図書館協力員の研修等、学校図書館連携推進館としての体制を整えた。 	学校図書館との連携内容をさらにつめ、強化していく。

継続：定着し、継続的に実施が行われている

充実：定着しつつある

実施：実施を始める

検討：実施に向け検討する（動き出す）

研究：実施に向け研究段階

4 地域における読書活動の推進

施策項目	所管課	平成26年度 計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
保育園・幼稚園での読書活動の推進	保育課	継続	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせの実施 ボランティアによる「おはなし会」実施 保護者への本の紹介の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士が子どもたちに日々読みきかせを行っている。 市内全公立保育園で、月1回程度ボランティアによる「おはなし会」を行っている。 「今日の絵本」コーナーなどで情報発信をしている 	読み聞かせやボランティアによる「おはなし会」は、園児や保護者から大変好評であり、子どもたちが絵本とふれあうよい機会となっているため、引き続き取り組んでいきたい。
	図書館		<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園等の図書館見学の実施 市デリバリー講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園が1園87人、保育園1園37人が図書館見学に来館した。 デリバリー講座の依頼により幼稚園の保護者向けの読み聞かせの講座等の実施を行った。 	他の保育園や幼稚園にも図書館見学に足を運んでもらえるようPRしたい。
児童館の絵本等の整備と読み聞かせ等の行事の実施	子育て支援課	継続	<ul style="list-style-type: none"> 児童館の児童図書等の整備 おはなし会・紙芝居等の実施 学童クラブの図書コーナーの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 児童図書の整備については、充実、向上に努めた。 花小金井南児童館「絵本のへや」11回、「かみしばい」11回、小川町二丁目児童館「絵本のへや」19回、小川町一丁目児童館「絵本のへや」21回、「かみしばい」11回を実施した。 学童クラブの図書コーナーについては、新たに262冊（うちマンガ本179冊）を購入し、充実に努めた。 	今後も継続実施
放課後子ども教室での読み聞かせ等の実施	地域学習支援課	継続	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室における紙芝居・読み聞かせ等の実施 	市内小学校全校(19校)で放課後子ども教室を実施し、その内、紙芝居・読み聞かせ等については11校で実施した。	平成26年度に放課後子ども教室は、市内小学校全校で実施となった。その内、紙芝居・読み聞かせ等は、前年度の9校から11校に増加した。今後も事業継続を図り、子どもの読書活動につなげていく。
市内公共施設等での子どもの本の充実	関係課	継続	<ul style="list-style-type: none"> 青少年センター 子ども家庭支援センター 地域センター等の児童図書の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センターでは、子どもの絵本を8冊、育児に関する本を10冊購入した。 	育児本については貸出を行い、育児に関する知識の向上に役立った。
	図書館		<ul style="list-style-type: none"> 選定図書リストの提供、選書等の支援 ブックリサイクル図書の配布 ブックリストの配布 	<ul style="list-style-type: none"> 市内学童クラブへ絵本の貸出を行った。 	引き続き取り組んでいく。
子ども文庫活動への支援と協力	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> 小平市子ども文庫連絡協議会への補助金の交付 子ども文庫用児童図書の購入・貸出 学習会・講演会等の共催 おはなしの出前「いとぐるま」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども文庫連絡協議会へ補助金を交付した。 子ども文庫用図書を購入した。 子ども文庫連絡協議会と連携しておはなし会を運営し、講演会等を共催して実施した。 	子ども文庫の地域での子どもへの図書の貸出・おはなし会の実施、学校への出前おはなし会などは地域で支持され、定着している。
市内の各施設での絵本リスト等の配布	図書館	研究	<ul style="list-style-type: none"> 児童館等での絵本リスト等の配布 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は、児童館への各種リストの提供は行なわなかった。 	児童課の協力を得て、要望があれば図書館案内の配布を依頼するなど、子どもと本を結び付ける機会を増やせるように検討していく。

※継続：定着し、継続的に実施が行われている

充実：定着しつつある

実施：実施を始める

検討：実施に向け検討する（動き出す）

研究：実施に向け研究段階

5 地域の力を生かした読書活動の推進

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
学校支援ボランティアの実施	地域学習支援課	継続	・学校図書館ボランティア養成講座の実施 ・学校図書館ボランティア活動の推進	・16校で21講座実施した。 ・図書館ボランティアについては、全校のボランティアを対象に研修・交流会を行い、情報交換を行った(2回)。	・前年度実績(13校21講座)と比較し、講座回数是不変なもの、実施校数が増。今後も継続することで、子どもの読書活動につなげていく。 ・交流会は年間2回を継続して行っており、今後も継続して行う。
小平地域教育サポート・ネット事業の実施	地域学習支援課	継続	・学校支援ボランティアへの各種講座の実施	・16校で21講座実施した。	前年度実績(13校21講座)と比較し、講座回数是不変なもの、実施校数が増。今後も継続することで、子どもの読書活動につなげていく。
「読み聞かせ実践講座」等の開催	図書館	継続	・読み聞かせ実践講座の実施 ・読み聞かせ講習の実施	・学校等での読み聞かせボランティア対象に「絵本の読み聞かせ実践講座」(全3回)を実施し、延べ60名が参加した。	学校での読み聞かせをするボランティア等に役立っており、今後も継続していきたい。
市民団体等への読書活動推進の支援	図書館	継続	・ブックリサイクル図書の提供 ・図書サークル等への各種講習の実施	・ブックリサイクルを実施し、児童図書の配布を行った。	今後も学校図書館ボランティアや子育てサークル等への支援を進めていく。リサイクル対象の絵本を市内公立保育園へ配布するなどの市内施設への支援の検討を行っていく。

※継続：定着し、継続的に実施が行われている

充実：定着しつつある

実施：実施を始める

検討：実施に向け検討する(動き出す)

研究：実施に向け研究段階

6 読書推進体制の整備

施策項目	所管課	平成26年度計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
子ども読書推進のための会議の開催	図書館	継続	・小平市子ども読書活動推進計画検討委員会の実施	・小平市子ども読書活動推進計画検討委員会を開催し、平成26年度の進捗状況について検討を行った。また、第3次計画策定内容の検討を行った。	計画の各課の実施の状況、取組みを確認することができた。
子ども読書活動推進計画の推進状況の把握	図書館	継続	・小平市子ども読書活動推進計画検討委員会の実施	・子ども読書活動推進計画の平成26年度の進捗状況について関連各課を対象に推進状況の調査を行った。 ・進捗状況を図書館ホームページに掲載するとともに、各図書館で閲覧できるようにした。	調査結果から計画が着実に進んでいることが確認され、第3次計画へつなげることができた。実施状況を館内閲覧だけでなく図書館ホームページから発信することによって広報が充実した。

※継続：定着し、継続的に実施が行われている

充実：定着しつつある

実施：実施を始める

検討：実施に向け検討する(動き出す)

研究：実施に向け研究段階

7 啓発・広報

施策項目	所管課	平成26年度 計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
子ども読書の日等における啓発事業	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・こだいら子ども読書月間の実施 ・「子ども文庫まつり」への協力 ・布のゆうぐ「ひまわり」による「布の絵本・遊具であそびましょう！」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こだいら子ども読書月間」の催しの中で、市内全図書館で、前年度のおはなし会で使用した絵本の展示を行った。中央図書館では「子ども文庫まつり」、布のゆうぐ「ひまわり」による「布の絵本・遊具であそびましょう！」を開催した。 	今後も継続し、子どもの読書活動の推進につなげていく。
啓発資料の作成と配布	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用利用案内の配布 ・図書館見学用案内の作成配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館のカウンターで児童用利用案内、各種絵本リストを配布した。 ・図書館見学用に各図書館で案内パンフレットを作成し、見学時に配布した。 	今後も継続し、子どもの読書活動につなげていく。
ホームページや広報の活用	図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページ及び「こどもとしょかん」からの情報発信 ・市報による行事案内・本の紹介等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ「図書館からのお知らせ」や「こどもとしょかん」「夏休みおすすめ本」「こどもきょうどしりょう」などの情報発信を行い広報に努めた。 ・市報では図書館開催の行事の案内を行った。 ・図書館メールマガジンで、子どもの行事案内など随時配信を行った。 	図書館や市のホームページから子どもの本の情報発信を進めることができた。

※継続：定着し、継続的に実施が行われている 充実：定着しつつある 実施：実施を始める 検討：実施に向け検討する（動き出す） 研究：実施に向け研究段階

8 その他（平成26年度中に実施した、子どもと読書に関わる事業）

施策項目	所管課	平成26年度 計画(※)	具体的事業	平成26年度実績	事業実績に対する評価等
公民館講座で絵本の読み聞かせ等の実施	公民館	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア講座の中で、絵本との出会い、楽しみを取り入れた講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小川公民館のジュニア講座①「絵本に出てくるお菓子を作ろう」、②「絵本に出てくる料理を作ってみよう」で、小・中学生を対象に菓子・料理が出ている絵本の読み聞かせを行った後に、菓子・料理を作った。 ① 定員 16 人、応募 20 人、受講 20 人 ② 定員 16 人、応募 17 人、受講 14 人 	絵本に登場する菓子・料理を実際に作り、本を読むことで、菓子・料理作りの楽しさ、面白さを体験することができた。また、実際に作ることで、絵本に対する再発見、受講者同士の仲間作りができた。
障がいを持つ子どもに向けたサービスの実施	図書館	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚、また読み書き等に障がいを持つ子どものために製作されたマルチメディアダイジー図書の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級を持つ学校への活用に向けたPRとして、学校図書館協力員研修にて、マルチメディアダイジー図書の紹介を行った。 ・11月の障害者週間に行った障がい者対象の図書等の展示の中で、マルチメディアダイジー図書の展示、再生を行った。 	マルチメディアダイジー図書について、学校から問合せを受けるなど、その存在をPRすることができた。

※継続：定着し、継続的に実施が行われている 充実：定着しつつある 実施：実施を始める 検討：実施に向け検討する（動き出す） 研究：実施に向け研究段階